



アニマル ウェルネス センター  
 Tel: 042-438-7811  
 Fax: 042-438-7812  
 製作者: 看護師  
 室岡 美由希

## 第6回目【肥満】

日本の犬の3頭に1頭が肥満、または太り気味といわれ年々増加傾向にあります。また、室内飼いの猫は約40%が肥満傾向にあるといわれています。

ちょっとぽっちゃりの方が心地いい、かわいらしい…。そう思っているそのあなた！肥満は思っている以上に危険なんです。病気のリスクは当然高くなりますし、寿命にも影響します。正しい体型を維持して、肥満を予防しましょう！

### ① 肥満とは？

体重が犬の場合は理想体重より15%増加、猫の場合は理想体重より20%増加で、肥満といわれています。

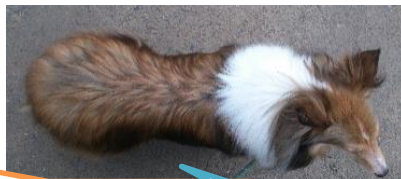
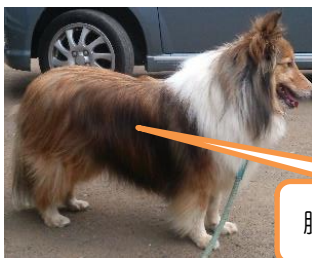
### ② 肥満チェック！

犬・猫

👉 触ってみよう！→肋骨さわれますか？

👁️ 見てチェック！→くびれがはっきりみえますか？

犬



脇腹の肋骨触れますか？

くびれがはっきり！

※犬はボディコンディションスコア (BCS) 1~9段階で肥満度をチェックできます。⇒受付に詳しい表があるので見てみてください。

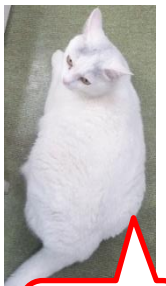
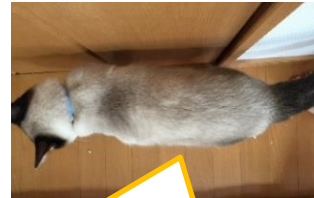
猫



お腹がたるんでいません。



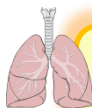
上から見ると肩からお尻まで同じ太さ…  
ちょっとぽっちゃりさん。



太っています。

### ③ 太るとなぜいけない？犬 猫

太るとこんなところに負担が！  
太ると病気にもなりやすくなります。



肺・呼吸器

糖尿病

麻酔が効きに  
くくなる



心臓

♀:難産

高脂血症

高血圧

関節

腎臓

尿路結石(シュウ酸カルシウム結石)



※適正体重でいることの利点

「標準体型の犬」の方が「太り気味の犬」より、**寿命が約2年**も長生きすることがわかっています。動物にとっても肥満は万病の元です。いつまでも若々しく健康でいてほしいですね。

④ 今からすぐできることがあります。食生活をみなおしてみよう！ 犬・猫

1. **おやつ**の与えすぎ。丸々1個あげてませんか？

→おやつは良いことをした時のご褒美に！  
細かくして少しずつ与えましょう。

2. **人間の食べ物**つい少しだけ与えてしまった…

→人間の食べ物は味付けが濃く、一気にカロリーオーバー！！

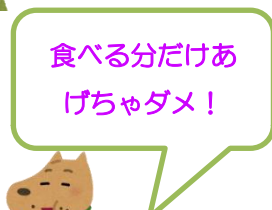
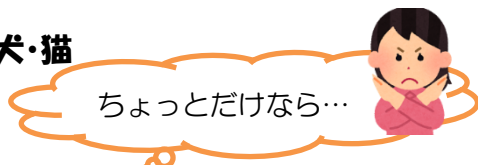
3. **ご飯のパッケージの裏の表記**を見て体重や年齢を参考に適正量を与えてますか？

4. 毎日、**ご飯の量**を計っていますか？

計る時間がなかったらカップに線を引いて目印をつけるのもいいでしょう！

5. **多頭飼いの猫はリーダー格の猫がご飯を独り占めに**していませんか？

食器を分けましょう！



**今すぐダイエット！！いつものご飯を半分に…は危ないよ！**

**いつもの量を半分にすると、栄養も半分に！！必要な栄養素が不足、かえって病気になってしまいます！**

タンパク質が落ち、筋肉が落ちる→代謝が落ちる→脂肪を蓄えてしまう。(健康上不適切)

猫は、急激に食事量を減らすと肝リピドーシスという肝臓に脂肪がたまる病気になってしまいます。

**⇒ダイエットに無理は禁物！**

⑤ 知っていますか？ 動物は思ったよりも小さいんです！(1日に必要な kcal は…?)



3kgの猫



2kgの犬



10kgの犬

健康で避妊・去勢済みの場合	191.4kcal	188.3kcal	629.8kcal
減量が必要な場合	127.6kcal	117.7kcal	393.6kcal



⑥ たった1kgの増加かもしれませんが、実は恐ろしいんです。

猫5kg→6kg(1kg増加)は、人間でいうと**50kg→60kg**になったのと同じこと！



当院では、「減量プログラム」を行っていますので、興味のある方はスタッフまでお申し付けください。